

令和5年度 二宮町町民活動推進補助金（ステップアップ支援）プレゼンテーションの審査結果

番号	団体名	公益性の点数を 6点以上を付した 委員数	合計点数を 40点以上で付した 委員数	委員全員の 合計点数の 平均点	委員全員の 経費の妥当性の 平均点	申請額	審査額
1	一般社団法人 あそびの庭	9 / 9	9 / 9	67.33	8.56	200,000円	200,000円
2	みんなの一色 こども食堂	9 / 9	8 / 9	53.67	6.89	200,000円	200,000円
3	もりびとNOA	9 / 9	8 / 9	58.56	7.67	200,000円	200,000円
						合計額	600,000円

◆町民活動ステップアップ支援補助金◆

番号	団体名	企画名	審査委員意見概要
1	一般社団法人 あそびの庭	子ども真ん中居場所事業 「はらっぱベース」	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に活動されており、今後の活動に期待します。もし、有料で活動をした場合の試算を踏まえ、今後の資金調達や活動基盤などを考えてみてください。 ・一般社団法人だけあって非常にしっかりとした運営だと感じました。継続活動のため、補助金を使い基盤整備を整えて自立した運営方法の検討をお願いします。 ・活動のPRが大きな課題である反面、PR活動自体が新たな不登校児童を発生させないかの、不安が払拭できません。PR方法で何らかの工夫が必要のように感じます。 ・当該活動の狙いは、不登校児童対策だけに絞られている訳ではない、ことを承知で記します。プレゼン会場の質問に少し補足しますが、不登校児童対策での、学校との連携の具体的中身は3点あると考えられます。●不登校児童の数量的・質的な実態把握●当外活動を通じた不登校児童の就学復帰対策の検討●タイムリーな情報共有の仕組み確保 ・各所へのアプローチが適切。経費の主軸が寄付とのことで少々不安定。 ・自立のための資金調達を検討する必要がある。 ・町民活動団体として今後のお手本となる姿だと思います。 ・経費が見える化して、資金協力を呼びかけ、実際に協力金が集まっていることは素晴らしい。 ・着実に事業をすすめられ、活動の幅も広がっていると感じます。 ・必要としている子どもたちにとって大切な場になっていることが伺えます。さらなる活動の発展を期待します。他方でスタッフの皆さんのご負担が過重でないかと気になります。意義のある活動で賛同される方もいると思います。学校や企業等との連携も含め、協力者（仲間）の輪が広がることも合わせて期待します。 ・社会的ニーズに応えていると考え、8点としています。二宮という地域に限られた課題ではないため、地域性は標準的な点数としました。

番号	団体名	企画名	審査委員意見概要
2	みんなの一角 こども食堂	子ども食堂・0円ショップ・食糧支援者への配布・クリスマス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・団体として解決したい地域の課題は、沢山あると思いますが、中長期的に計画を立て、成果の指標もしっかりと見据え、持続可能な活動を丁寧に進めてください。 ・NPO 法人になるとすれば、どうしてする必要があるかを、メンバー一人ひとりが納得できるように話し合っ決めてください。 ・活動は非常に良いものだと思いますので、継続して活動する為の方法を是非模索して頂ければと思います。 ・スタッフの高齢化を踏まえて、今後の組織継続への具体策がない中で、「将来は他の組織に」との言葉がありました。しかし、複数の公的支援を得ていることから、当活動への周囲の期待は大きく、継続性確保は必須課題と思われます。現組織の継続性が難しいのであれば、活動全体を移管する別組織を探す活動自体を、第三者に依頼することも、立派な組織基盤整備活動ではないでしょうか。 ・助かっている人が確実にいる中、運営側の負担や人材確保の見通しが不安。 ・運営資金と人材の計画が乏しい。2年経過しているが、自立性や運営面の整備が必要である。 ・自分たちは良いことをしているのだという気持ちが先行して、今、公的な費用で取り組むべき優先順位は何なのかを考えることが足りないと思います。 ・他にも見られる、このような団体向けに「感謝の気持ちで町から寄付をする」という考え方の制度を考えてみてはいかがでしょうか。 ・特に0円ショップに大きなニーズ、期待があり、それに応えようと努力している。 ・地域の皆さんから求められている大切な活動であることがよくわかります。他方で活動を広げていくには現状では皆さんのご負担が大きいに感じます。子ども食堂と0円ショップでは対象が異なると思います。引き続き両方進めていくのか等、改めて今後の活動の方向性や運営方法を確認いただくとよいです。 ・子ども食堂事業を中心に戻していくことが必要なのではないかと感じました。

番号	団体名	企画名	審査委員意見概要
3	もりびとNO A	風土再生と多様な学び を二宮に	<ul style="list-style-type: none"> ・森、山、川、若者など、魅力的なキーワードがちりばめられている活動です。 ・気候非常事態に関する活動は待ったなしなのではないかと推測しますが、町民活動ならではの丁寧な行動を続けることが大きな課題への挑戦の第一歩となります。無理せず続けていただくことを期待しています。 ・他の団体との連携も多く、活発な活動をしている様に感じます。今後の活動にも非常に期待しています。 ・活動が組織的でないため、依然として公的支援終了後の活動継続性に大きな不安が残ります。プレゼンでも話題になったように、今後は規約の見直しを進めると同時に、以下を検討されることを期待します。 ●組織の編成●役割分担と計画的運営●資金調達方策 ・二宮町には必要な活動。生活の変化や続けていくことへの大変さを感じる。 ・地域性は高いが運営面に課題が残る。 ・活動団体の実態が見えません。①昨年の報告書や今年度の企画書に多数「若者が」とか「若者による」という記述が出てきますが、若者当人が自分たちのことを「若者」と表現するのでしょうか？ 書類を書いているのは当人たちではないように思われます。②構成員の人数は23名(かなり大勢)とのことですが、その全体像(それぞれがどんな役割を持ち、全体をどんな運営形態で取り組んでいるかなど)が見えません。団体として活動する最低限の必要事項だと考えます。 ・活動の成果が見えません。昨年度の報告書の記述は多岐に渡り、活動の趣旨に合った要点に絞り込めていません。その中で、いくつかの活動で延べ数百人の子どもたち(2回以上リピート参加が30名)の参加があったと報告されていますが、町の広報誌6月号の表紙を飾っている写真(エコフェスタのホールイベント)にその子どもたちの姿が全く見えません。活動を通じて活動の趣旨を理解した子どもたちがいれば少しでも会場に来たのではないかと思います。 ・山林整備に必要な知識、技術を着実に身に着けている。子どもたちのイベント教室開催に期待する。 ・活動が着実に広がっていることがわかります。地域の皆さんとの連携しつつ、子どもたちへの働きかけがあることが素晴らしいと感じます。さらなる活動の発展を期待します。他方で委員長からも指摘ありましたように、皆さんの活動の軸(ミッション、ビジョン)をそろそろ明確に示していただく時期と感じます。メンバーや活動が広がるときに、軸があ

			<p>ることで、そこに照らし合わせて進む方向を確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none">・先駆的な取組について評価しましたが、団体の自立性、継続性を心配しています。頑張ってください。
--	--	--	--

プレゼンテーション風景

